令和2年度 はなバスの見直し基準における算出結果

1 収支率

◆収入の算出

収入= 利用者数^{※1} × 設定運賃 当費税

利用者によって変動する運賃(こどもの運賃等)を統一するため、設定運賃(150円)の税抜額を乗じて算出。

※1:区間ごとに計上した値。 ※2:系統別の広告費を走行距離で按分し、区間ごとに算出。

◆支出の算出

- ・車両減価償却費(5年償却)を、実際の車両の運用と合わせて10年償却で平準化した車両減価償却費に置き換える。
- ・臨時的経費については、ルート及び年度ごとに変動するため控除する。
- ・上記の条件を適用し、算出した経費を走行距離で按分し、区間ごとに算出する。

◆目標収支率:70%

		第1	第2			第3			第4北	第4南			合計	
			主軸	課題A	課題B	計	主軸	課題	計	年4 化	主軸	課題	計	日司
平成	収支率	91.8%	78.8%	22.7%	45.4%	65.0%	70.4%	20.6%	51.9%	43.8%	90.1%	37.5%	76.4%	63.3%
30年度	目標収支率:70%以上	0	0	×	×	×	0	×	×	×	0	×	0	×
令和	収支率	86.6%	75.2%	24.3%	42.5%	62.1%	64.3%	19.6%	47.7%	40.2%	86.4%	36.0%	73.2%	59.6%
元年度	目標収支率:70%以上	0	0	×	×	×	×	×	×	×	0	×	0	×
令和	収支率	54.9%	46.1%	14.3%	24.0%	37.5%	44.6%	12.7%	32.7%	26.0%	57.9%	24.8%	49.3%	39.1%
2年度	目標収支率:70%以上	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×

2 公共交通空白地域・不便地域に設置しているはなバスのバス停における1人当りの乗車回数

◆乗車回数の算出

バス停ごとの現金及び I Cカードの年間利用者を区間別に集計し、対象区間の沿線人口(令和2年4月時点)で除して算出する。

◆目標乗車回数:年間8回/人

※ 第4北ルートについては、令和元年9月に西原町4丁目(田無ファミリーランド)停留所の移設があったため、移設後の沿線人口で算出

の、物成及の心臓がして非出										
		公共交通空白・不便地域に設置している はなバスのバス停の沿線人口(人) ①	乗車回数 (回/年) ②	沿線人口1 乗車回数 ② -	直近の 傾向					
		令和2年度	令和2年度	令和元年度	令和2年度					
第1		17,818	82,714	7.3回	4.6回	>				
	主軸	5,105	20,329	6.4回	4.0回	>				
第2	課題A	4,303	3,561	1.4回	0.8回	>				
	課題B	1,098	1,475	2.0回	1.3回	>				
第3	主軸	11,880	69,257	8.9回	5.8回	>				
	課題	15,156	10,933	1.1回	0.7回	>				
第4北	課題	2,401	20,926	17.3回	8.7回	>				
第4南	主軸	10,188	61,419	10.2回	6.0回	>				
	課題	4,529	9,183	3.1回	2.0回	\ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \				

3 収支率と乗車回数の関係



(参考) 各ルートの主軸区間と課題区間の設定

平成30年に実施した、はなバスの乗降(OD)調査の結果から、運行本数や運行距離を考慮し、1km当たりの乗車人数を算出し、その算出値をルート全体の1km当たりの利用人数の値と比較した際に、利用者数が多い区間を「主軸区間」、利用者が少ない区間を「課題区間」として設定しました。各ルートの区間は下図のようになっています。

